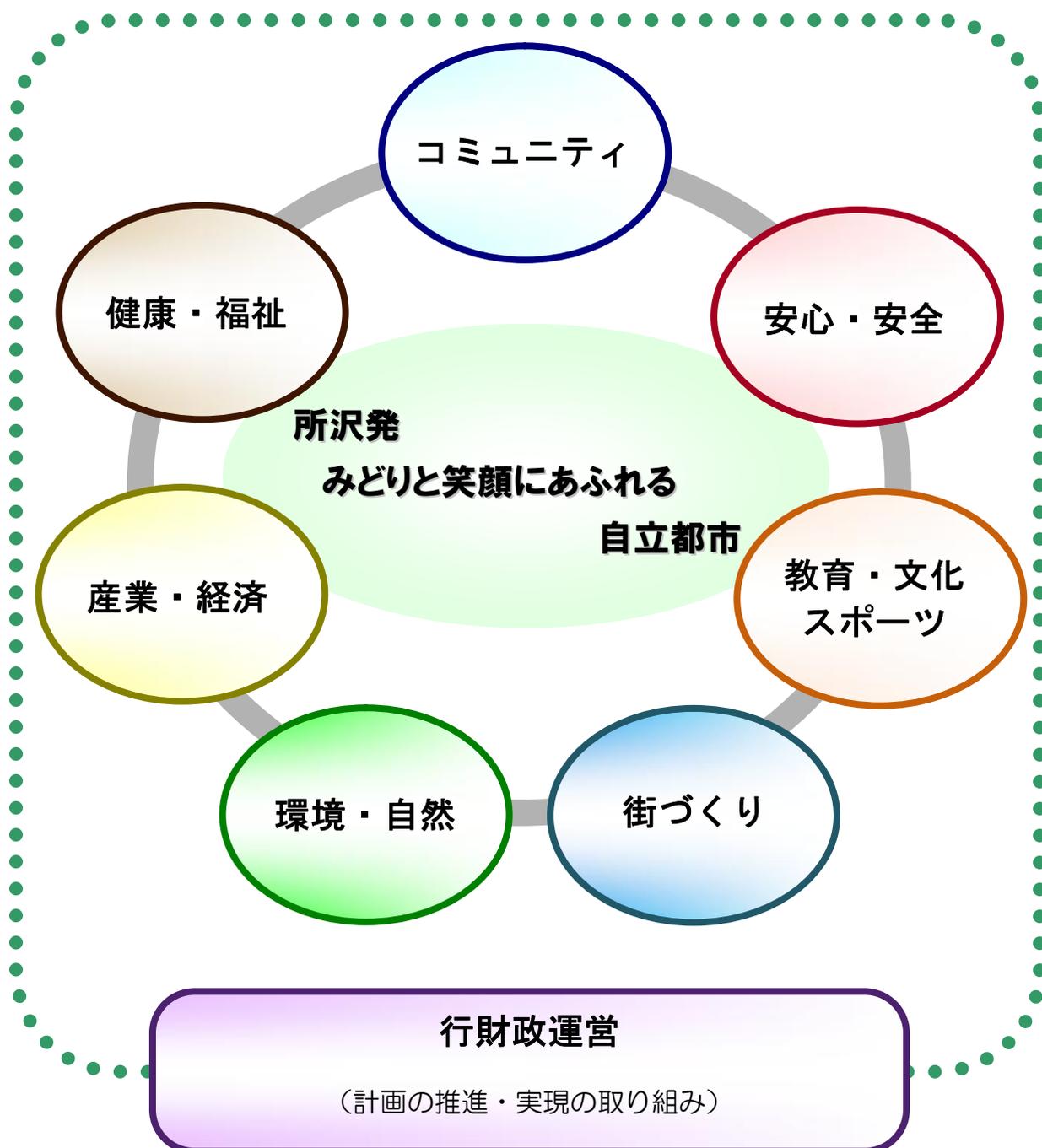


# 4

## まちづくりの目標

将来都市像を実現するためには、本市を取り巻くさまざまな視点から、まちづくりの課題に取り組む必要があります。

そのため、次に示す分野ごとに「まちづくりの目標」を定め、目標を実現するための方向性や方針を示します。



# まちづくりの目標1 『コミュニティ』

## 参加とふれあいで成り立つコミュニティをめざします

### 《社会の動向》

都市化の進展、人々のライフスタイル<sup>※</sup>の多様化や社会意識の変化などにより、人々の地域社会への関わり方も変化してきています。

また、防犯・防災、環境、地域福祉、外国籍市民への対応など、地域社会における課題は多様化しており、それに伴い、地域の住民が主体となって取り組む新たなコミュニティ活動が生まれつつあります。

### 《市の課題・方向性》

心のふれあいを大切にしたい、快適で住みよい地域社会を実現するためには、市民と力を合わせて協働のまちづくりを進めることが重要です。

そのため、地域の特性や個性を見つめ直し、市民が主体的に地域活動に参加していくまちをめざして、自治会・町内会などの地縁組織による取り組みや、NPO<sup>※</sup>・ボランティア<sup>※</sup>といった自由な市民活動などに対して積極的に支援します。

また、基本的人権の尊重を基盤とした男女共同参画社会<sup>※</sup>の実現や外国籍市民にも暮らしやすいまちづくりの実現に向けた取り組みを進めます。

### 《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》

- ◆ 地域活動（自治会・町内会やPTA、地域福祉、コミュニティなど）の支援
- ◆ ボランティア・NPO団体などと市との協働を進める仕組みづくり
- ◆ 地域ネットワーク<sup>※</sup>創設に向けた環境整備
- ◆ 多様化する人権問題解決に向けた取り組み

※ライフスタイル…衣食住だけでなく、趣味や娯楽なども含む広い意味での暮らしのあり様をさす。生活そのものの考え方、生活習慣、個人の主義や信条なども表すことがある。

※NPO…「Nonprofit Organization（非営利組織）」の略で、株式会社などの営利企業とは違い、利益追求のためではなく、社会的な使命をめざして活動する組織や団体のこと。

※ボランティア…自主的に社会事業などに参加し、無償の奉仕活動をする人。

※男女共同参画社会…男女が自立したパートナーとして、ともに責任を分かち合いながら、あらゆる分野に参画する機会が確保され、その成果として、一人ひとりが真に豊かな生活を享受できる社会。

※地域ネットワーク…自治（町内）会等の小地域を基盤として、住民の参加と協力により、同じ地域の中で援護が必要な人々の生活をみまもり、支え合っていく隣人同志の助け合い活動。

## まちづくりの目標2 『安心・安全』

### 市民・地域・市が協力し 安心して暮らせるまちをめざします

#### 《社会の動向》

阪神・淡路大震災後も続く大規模地震、ゲリラ豪雨<sup>※</sup>や台風の大型化といった異常気象など、近年、全国各地で多くの自然災害が発生しています。

また、新型インフルエンザ<sup>※</sup>の発生など、新たな脅威に直面することで、あらためて安心・安全に対する意識が高まりを見せています。

さらに、振り込め詐欺などの新しいタイプの犯罪や、高齢化による介護問題の深刻化、救急医療体制の整備の遅れなど、日常生活を営む上での不安要素も社会情勢の変化に伴い多様化しています。

#### 《市の課題・方向性》

市民が、安心とゆとりをもって日常生活を営むことができ、安全な生活環境を確保するためには、一人ひとりが意識の向上を図ることはもちろん、市と地域が一体となって取り組みを進めることが重要です。

こうした課題を踏まえ、本市では不測の事態に対応できる防犯や防災、市民生活の日常を守る消防や交通安全などの体制整備を進めるとともに、地域における市民相互の危機管理意識の啓発や、安心・安全な地域づくりへの市民参加を支援します。

#### 《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》

- ◆ 災害に対応しうる協働の仕組みづくり
- ◆ 犯罪を起こさせにくいまちづくりの推進
- ◆ 交通安全に向けた意識の啓発と環境整備
- ◆ 広域的な消防行政の推進と消防力の充実

※ゲリラ豪雨…集中豪雨の中でも降雨の範囲が非常に狭く、また降雨時間が短いにもかかわらず単位時間あたりの降雨量が非常に多いものの俗称。予測が困難なことが多く、また都市型水害を伴うことも多い。

※新型インフルエンザ…突然変異によって、人に感染するようになったインフルエンザウイルスを病原とする急性の呼吸器感染症。免疫がないことから感染が急速にまん延し、市民の生命、健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

## まちづくりの目標3 『健康・福祉』

### 思いやりの心で支え合う 幸せに暮らせるまちをつくれます

#### 《社会の動向》

わが国の高齢化は他の先進国を上回る速度で進行しており、医療・福祉にかかる社会保障などによる財政的負担は、今後、著しく増加することが予測されています。

そのため、健康寿命を延ばすための取り組みがさまざまな形で進んでいますが、一方で、経済状況の悪化や家族形態の変化などにより、今までの仕組みでは健康的な生活を維持することが困難になることが懸念されています。

#### 《市の課題・方向性》

すべての市民が心身の健康を実感し、明るく幸せな生活を営んでいくためには、一人ひとりが自分を大切にし、お互いに認め合い、支え合うことのできる地域社会の実現が必要です。

そのため、子どもたちが健やかに育ち、高齢者が生きがいを感じるまち、すべての市民が将来にわたって健康を意識し、心豊かにいきいきと暮らすことのできるまちをめざし、こうした認め合い支え合う社会への理解をさらに深めていくとともに、地域に根ざした保健・医療・福祉の充実やネットワーク環境の整備を進めます。

さらに、安心して子育てができるまちをめざして、子どもたちや子育て家庭への支援、小児医療の充実に努めます。

#### 《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》

- ◆ 地域に根ざした保健・医療・福祉の充実
- ◆ 自立に向けた支援の充実
- ◆ 生涯を通じた健康づくりの推進
- ◆ 子どもたちと子育て家庭への支援の充実
- ◆ 小児医療の充実

## まちづくりの目標4 『教育・文化・スポーツ』

### 教育の充実、文化・スポーツの活性化で 所沢の魅力を高めます

#### 《社会の動向》

少子化や核家族化が進む中、学校教育の果たす役割は大きく変化してきています。児童・生徒の学力や体力の向上、豊かな心の育成はもちろんのこと、安心・安全な学校づくりが求められています。

また、人生80年といわれる時代を迎え、市民一人ひとりが豊かで健康的な暮らしを送るために、より充実した生涯学習社会<sup>\*</sup>の構築や文化・スポーツの振興に期待が寄せられています。

#### 《市の課題・方向性》

市民や地域のニーズを踏まえ、より良い教育環境と地域づくりをめざし、計画的に教育行政を進める必要があります。

そのため、生涯学習の充実に向けて、市民ニーズを捉えた学習機会の提供や学習事業を実施し、誰もがいきいきと学ぶことができる環境づくりを進めます。

また、地域とともに歩む「特色ある学校づくり」や学習環境の整備を計画的に進めるとともに、「あいさつ運動」などによる地域との関わりを通じて、心豊かでたくましい子どもたちを育む学校教育を推進します。

次代を担う青少年の健全な育成を推進するため、地域、家庭、学校が連携したサポート体制を充実します。

さらには、歴史を大切にし、伝統文化を継承しながら、新たな市民文化の創造・育成を進めるほか、スポーツ環境を充実させ、スポーツを楽しむ地域づくりをめざします。

#### 《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》

- ◆ 生涯学習の推進
- ◆ 地域とともに歩む学校づくり
- ◆ 確かな学力と健やかな心身を育む学校教育の充実
- ◆ 青少年の健全育成と子ども・若者支援の充実
- ◆ 学校施設の耐震化

<sup>\*</sup>生涯学習社会…人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が社会において適切に評価される社会のこと。

## まちづくりの目標5 『産業・経済』

### 資源・特性を活かし 産業の活性化やにぎわいの創出を進めます

#### 《社会の動向》

社会全体が、人口構成や経済を取り巻く環境の大きな変化に直面し、消費形態も以前と異なってきたという状況の中、継続的な経済成長の実現に向けて、さまざまな対応に迫られています。

また、産業の担い手の高齢化や後継者不足が進行しており、産業の維持・発展を進めるうえで、大きな課題となっています。

#### 《市の課題・方向性》

本市は、首都圏に位置するという立地条件や恵まれた自然環境などを活かし、商工業や農業などの産業を発展させてきました。今後、厳しさを増す社会経済情勢の中では、これまで培ってきた資源や地域の特性などを活かし、産業間の結びつきを深めるとともに、地域に根ざした産業の育成や消費者の目線に立った取り組みを進めることが重要です。

そのため、農業と商工業・観光の連携による地産地消の推進や、豊かな自然、プロスポーツチームの本拠地といった資源を活かす取り組みを進めることにより、産業の魅力・活力をより一層引き出すとともに、商店街を中心としたにぎわいを創出するなど、市民生活に密着した産業の支援を進めます。

また、経済の活性化のためには、新たな担い手が必要となります。そのため、後継者の育成はもとより、女性・高齢者などの雇用促進、働きやすい環境整備を支援します。

さらには、生産・経営基盤の整備、充実と合わせて起業の支援などを行います。

#### 《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》

- ◆ 所沢の顔としての中心市街地の活性化
- ◆ 雇用の確保及び創出のための取り組み
- ◆ 地産地消<sup>※</sup>の推進
- ◆ 優良農地<sup>※</sup>の保全と農業後継者の育成
- ◆ 所沢の特性に合った工業の振興

※地産地消…その地域で作られた農畜産物・水産物を、その地域で消費すること。また、その考え方や運動。

※優良農地…農業生産性の高い農地、集団的に存在している農地、農業基盤等の整備を行ったことにより生産性が向上した農地。

## まちづくりの目標6 『環境・自然』

### 豊かな自然と共生する持続的発展可能なまちをめざします

#### 〈社会の動向〉

物質的な豊かさを求める大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会は、多量なエネルギー消費とともに環境に対して多大な負荷を与えてきました。この結果、近年では、地球規模での環境の変化を象徴する大型台風や干ばつ・熱波などの異常気象、極地における氷河・氷床の減少や生物生息域の変化などが世界各地で認められています。

日本国内においても、都市部での最高気温の更新や台風の大型化といった影響が生じており、進行しつつある地球温暖化は、全世界で取り組むべき課題として、社会全体に大きな影を落としています。

#### 〈市の課題・方向性〉

本市は、狭山丘陵や武蔵野の雑木林、三富新田などに代表される豊かなみどりに恵まれたまちです。多くの市民はこの豊かな自然を享受していますが、利便性の高い快適な生活を求める社会状況の中で、自然環境への配慮が十分になされないまま、都市化に向けた開発が進められたことなどから、最近では、みどりの減少や生物多様性\*に与える影響が危惧されるなど、さまざまな環境問題が顕在化しています。そのため、人の営みと自然との調和を図り、社会経済システムのあり方やライフスタイルそのものを見直すための取り組みが大変重要となっています。

こうしたことから、本市の豊かな自然環境を地域固有の財産として保全し、市の景観形成などに活用しながら、魅力ある資源として次世代へ引き継ぐとともに、地球温暖化対策に積極的に取り組み、市民・事業者・市がともに循環型社会\*の形成に参加する意識を高めながら、未来に向かってさらなる発展をめざす社会の構築を進めます。

#### 〈まちづくりの目標の実現に向けた主な方針〉

- ◆ 地球温暖化対策の推進
- ◆ みどりや水辺の自然環境の保全と都市におけるみどりの創出
- ◆ 循環型社会形成をめざしたごみの減量と資源化の推進

\*生物多様性…いろいろな生物が存在している様子。生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性の3つのレベルの多様性により、生命が豊かに存在すること。

\*循環型社会…廃棄物の発生を抑え（リデュース）、使用済製品がリユース・リサイクル・熱回収等により適正かつ循環的に利用され、その他については適正処分によって、天然資源の消費を抑え、環境負荷をできる限り少なくする社会。

## まちづくりの目標7 『街づくり』

### 誰もが安全で快適に暮らせる 自然と調和した街づくりを進めます

#### 《社会の動向》

厳しい財政状況の下、人口減少や少子高齢化はあらゆる面に影響を及ぼしており、街を形成する社会基盤にもさまざまな変化が生じています。

これまで人々の生活を支えてきた地域の基盤においても、利用されていない住宅の増加や街の中心部の空洞化が進んでいます。

また、公共交通機関についても地方圏を中心に衰退の傾向が見られるなど、地域社会は大きな変貌期を迎えています。

#### 《市の課題・方向性》

本市の特長である豊かなみどりの大切さを再認識し、都市と自然のバランスがとれた街を構築することが求められています。また、今後さらに加速する高齢化の進行により、交通弱者の増加が見込まれる中、次世代にとって魅力ある空間を創出するためには、より一層のユニバーサルデザイン※の考え方に沿った「歩いて暮らせる街づくり」を進めることも重要です。

街の構築にあたっては、環境や景観に配慮しながら、県南西部の中核的な都市として、個性に満ちた魅力あふれる施設などを整備することにより、人々が安心して集える、安全で災害に強い市街地の形成を図ります。

また、地区計画制度※などを活用し、その地域の特性に応じた、誰もが住みやすい、快適な暮らしを享受することができる街づくりを計画的に進めます。

さらに、市の中央部に位置する米軍所沢通信基地については、本市の発展を阻害する要因となっていることから、引き続き返還を求めるとともに、返還後の活用に向けて取り組みを進めます。

#### 《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》

- ◆ 地域の特性に合った街づくりの推進
- ◆ 所沢らしい良好な景観の形成
- ◆ 所沢駅周辺をはじめ、各鉄道駅周辺などの生活拠点の整備促進
- ◆ 安全性・利便性向上のための幹線道路や生活道路の築造・整備
- ◆ 災害に強いインフラ※への転換
- ◆ 米軍所沢通信基地の返還に伴う跡地の有効利用

※ユニバーサルデザイン…障害の有無・年齢・性別・国籍・人種などにかかわらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。

※地区計画制度…都市計画法と建築基準法に基づき、地区住民の理解のもとに、地区の特性にふさわしい良好な都市環境の形成を図るため、建築物の用途や地区施設の配置などを定め、その実現を図る制度。

※インフラ…「インフラストラクチャー」の略。上下水道や道路などの社会基盤のこと。

## まちづくりの目標8 『行財政運営』

### 効率的・効果的な行財政運営により総合計画を進めます

#### 〈社会の動向〉

人口減少と高齢化の進行は、自治体の行財政運営にも大きな影響を与えつつあります。また、地方分権一括法の施行以来、自治体に期待される役割や責任は一層大きいものとなり、それとともに自治体としての自立性や持続性が求められる時代となりました。

一方、市民意識の高まりにより、市民の行政運営などへの参画の要望が強まり、新たな参画の仕組みづくりが課題となっています。

#### 〈市の課題・方向性〉

本市を取り巻く環境は、近年の社会経済情勢の影響を受け、大変厳しいものとなっています。特に、急速な高齢化なども大きな要因となり、今後ますます財政の硬直化は進むものと想定されます。

こうした中、将来都市像に掲げる自立したまちづくりを進めるためには、限られた財源や既存の資源を有効活用するとともに、従来手法に捉われない行財政改革に積極的に取り組むことが必要です。

また、市民・事業者・地域コミュニティの参加と協働により、市民目線にたった開かれた行財政運営を進めます。

#### ① 行政経営

総合計画を実現するための行政経営を進めます。

そのため、具体的な目標を掲げ、その達成に向けて全庁的に取り組むとともに、効率的・効果的な行政経営をめざし、積極的に行政改革に取り組みます。

また、業務の見直しなどによりスリムで効率的な組織運営を進めながら、多様化する市民ニーズに対応できる柔軟な組織編制や人材育成など、組織力の向上に取り組めます。

#### ② 財政運営

総合計画の実現に向けた自立的な財政運営を進めます。

そのため、聖域を設けず経費の見直しや削減に取り組み、事業の優先度などに視点を置いた予算の適正配分を行い、限られた財源をより有効に活用できるよう財政運営を進めます。

また、本市の持つ資源を活用することなどにより、財源の確保に努めます。

### ③ 市民参加

市民・地域が主体のまちづくりをめざし、市民参加の機会の充実を図ります。

そのため、情報公開を進め、市民の知りたい市政情報をわかりやすく、迅速に提供することに努めるとともに、市民の意見や提案を活かすことのできる参加の仕組みづくりを進め、より多様な参加機会の創出に取り組みます。

### ④ 広域行政

県南西部の中核的な都市として、広域行政※に積極的に取り組みます。

広域的な行政課題の解決などに取り組むため、国や県をはじめ、近隣自治体などとの連携を図ります。特に、生活圏を共有する埼玉県西部地域まちづくり協議会※の構成自治体（飯能市・狭山市・入間市）との連携をさらに強化し、圏域市民や団体との交流を促進します。

### ⑤ 進捗管理

総合計画の進捗管理は、行政評価（事務事業評価・施策評価など）により行い、PDCA（P：計画・D：実行・C：評価・A：改善）サイクル※の中で適正に管理し、実行性の担保に努めます。また、市民への説明責任を果たすため、その結果を市ホームページなどで公表します。

## 《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》

- ◆ 効率的・効果的な行政運営の推進
- ◆ 市有財産の有効活用と適正管理
- ◆ 計画と評価の連動による効果的な資源配分の推進
- ◆ 適正規模の予算編成
- ◆ 市政情報の共有化と市民参加の拡充
- ◆ 職員の意識改革による行政の効率化とスリム化の推進
- ◆ PDCAサイクルの着実な実行と進捗状況の管理

※広域行政…市町村の行政区域を越えて、より広い区域を単位とする地方行政。行政区域を越えて拡大する社会活動や経済活動に対応しようとするもの。

※埼玉県西部地域まちづくり協議会…所沢市、狭山市、飯能市、入間市の4市で構成する協議会。愛称「ダイアプラン」。互いに交流や連携をし、魅力あふれる都市圏を創造することを目的とする。圏域市民の交流事業や公共施設の相互利用、専門部会による広域行政の推進などの活動を展開している。

※PDCAサイクル…事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。

